

【通常診療録データの調査研究への使用のお願い】

高崎総合医療センター救命救急センターでは「救命救急センター退室患者の臨床的悪化を予測するNEWSとNEWS 2の精度の比較に関する研究」という臨床研究を行っております。この研究は、救命救急センター退室患者におけるNEWSとNEWS 2の臨床的悪化の予測精度を診療録データから得られたバイタルサイン（体温、心拍数、収縮期血圧、呼吸回数、動脈血酸素飽和度、意識状態）を用いて後方視的に解析し比較することを主な目的としています。NEWSとは、24時間以内の院内死亡をはじめとした有害事象を予測することを目的に英国で作成された指標であり、NEWS 2はその更新版となります。以上を調査するため、対象調査期間中に救命救急センターから一般病床に退室された患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- ① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。
研究期間：倫理委員会承認日 ～ 2023年1月31日まで
オプトアウト実施期間：倫理委員会承認日～ 2023年1月31日まで
対象調査期間：2016年1月1日 ～ 2020年12月31日まで
- ② 今回の調査研究の対象は対象調査期間中に救命救急センターから一般病床に退室された患者さんのカルテ、バイタルサイン（体温、心拍数、収縮期血圧、呼吸回数、動脈血酸素飽和度、意識状態）です。
- ③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- ⑦ この調査研究は、研究費を使用しません。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、お手数ですが、2022年11月30日までに下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

東京医療保健大学大学院 看護学研究科

高崎総合医療センター 看護部 職名：看護師

研究責任者：塩尻洋大

E-Mail：kg021006@thcu.ac.jp

T E L：027-322-5901(代) F A X：027-327-1826(代)